

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2509回★★ スノーシューで登る 奥美濃 野伏岳	3月17日(土) ～18日(日) 8:00 竹田駅西口	井戸 澄夫	10日(土) 京都南IC-白鳥 IC-桧峠(毘沙門岳往 復) 11日(日) 野伏岳往復
備考 石徹白の民宿に泊まります。参加希望者は担当まで必ず連絡してください。			
第2510回★★ 北八ヶ岳連峰 「東天狗岳2,640m」 「西天狗岳2,646m」 「中山2,496m」	3月2日(金) ～4日(日) 7:00 局集合	吉田 武	2日(金) 京都-諏訪IC- 渋御殿湯 3日(土) 渋御殿湯…黒百合 ヒュッテ…中山峠…東天 狗岳…西天狗岳…中山峠… 黒百合ヒュッテ 4日(日) 黒百合ヒュッテ… 中山峠…中山△…渋御殿 湯温泉-諏訪IC-京都
備考 装備 冬山装備, サングラス, 嗜好品, 行動食, 山スキー又はスノーシュー 参加希望者は担当まで必ず連絡してください。			
第2511回★★ 弥彦山 638m 米山 993m	4月6日(金) ～7日(土) 5日(木) 23:30 京都駅中央改札口集合	吉田 武	1日目 京都駅 0:01(寝台急 行きたぐに)-東三条 駅 7:47-8:47 弥彦線- 弥彦駅 9:19-弥彦登山 口…弥彦山往復-弥彦駅- 東三条駅-柏崎駅(レン タカー)-柏崎温泉ホテ ル 2日目 柏崎温泉ホテル-米山 登山口…米山往復-柏崎 駅(16:52)-金沢駅 (着19:15, 発19:40)- 京都駅(22:04)

備考 装備 日帰り装備, 防寒着, 嗜好品

費用 30,000円

参加希望者は3月20日までに担当まで必ず連絡してください。

今月の集会〔総会〕

日時 3月14日(水) 18:30~

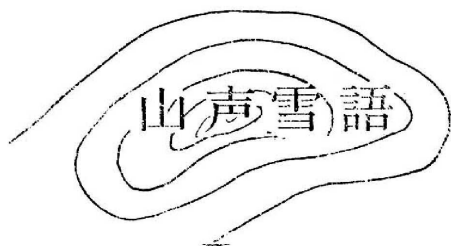
場所 鳴滝寮

(16日から変更になりました。)

企画運営委員会

日時 3月8日(木) 18:30~

場所 厚生会館 4F 六角会議室



梅の花も咲きそろい、桃の開花ももうすぐである。また桜の芽も膨らんで、今年の開花は早くなりそうである。東京では今冬はいまだ雪を見ないという。京都も北山がうっすらと白くなっても、市内の雪景色は見ずに春になりそうである。

2月初めにエジプトを旅行した。砂漠で暑いというイメージがあるが、夜と朝の冷え込みは日本と変わらない。さすがに日中の日差しは強く気温も30度くらいまで上がるが、空気は乾燥しており渡る風は涼しい。ナイル川の沿岸を除くと、見渡す限りの砂漠である。所々に山の姿が見られるが、植物の姿はまったく見られず日本で見る山の光景とは随分と異なる。エジプト新王朝の歴代ファラオの墓がある王家の谷も標高500mほどの山の谷間にある。全山石灰岩の岩塊である。ほとんど雨のない気候であるから石灰岩が溶けることも風化することもなく、王墓の内部には見事な色彩の壁画が残されている。しかしツタンカーメン王の墓を除いてすべての墓が盗掘にあって金銀財宝の類は残っていない。若くして死んだツタンカーメンの墓は小さく、他の王の墓の下に掘られたため、奇跡的に盗掘を免れた。そのツタンカーメン墓の副葬品がカイロ博物館のメインの展示物となっており、人々の感動と絶賛を浴びている。もし他の王墓の副葬品が残されていたなら、ツタンカーメンをはるかに凌駕するものであろう。30人以上の妻と100人以上の子供を持ち、90歳の長寿を全うした最強の王ラムセス2世のミイラも、奇跡的に残されてカイロ博物館で尊顔を拝することが出来る。ピラミッドにしるアブシンベル神殿にしる、王の巨大な権力の誇示と、永遠の生命へのあくなき執念がひしひしと伝わってくる。いづこの権力者も考えることはあまり違わない。

3月14日は鳴滝寮で総会がある。日程が変更になったので注意願いたい。今回は役員改選で、新旧交代の節目の総会である。ふるって参加願いたい。

(H. 19. 2. 20. 記S.I.)

赤坂山

清水康裕

1月27日(土)、京交山岳部が購入した新品のスノーシューを試したくて、雪を目指し雲取山から赤坂山へ目的地を変更した。少し雨の降る中、雪が無く子供たち中心のイベントの準備中のゲレンデから歩き、リフトの終点へ向かう。ゲレンデのずっと上のほうは雪が積もっているのが見える。ある子供連れの夫妻が我々にしゃべりかけた。「雪山へ行かれるのですか。わたしたちは山登りが苦手なので、すごいですね。」みたいなことだ。「あの雪を目指します。スノーシューを試したいので。」と言いつつ。リフト終点で井戸さんにピーナツの甘い菓子をもらい、小腹が空いていたので、よい小休止。そこから歩き出すと雪が現れ出した。尾根に出ると、雪が少しずつ増えていく。できるだけつぼ足で登っていく。562mのピーク手前のなだらかな所で昼食をとり、待望のスノーシューをはいた。以前聞いたように全然沈まない。快適に登れる。ただ、急斜面の直登はうまくできない。やはりジグザグに登らないといけないようだ。小1時間登って13:00に一面真っ白な所に出る。歩いている方向がわからなくなるホワイトアウト。しばらくいくと寒風に出た。赤坂山の方角を標識と磁石で確かめ歩き出す。尾根の真ん中を選んで進んでいた。途中から目印が無くなった。不安になって来た道を引き返した。するとオレンジ色の布の目印が現れたので、それを追った。少し西へ進んで、すぐ北へ向かうのだと予測していたが、西へ進んだままいっこうに北へは向かわず、だんだん南へ向かいだした。読図は先輩たちのようになかなかできないという井戸さんの話にうなずき、もうほとんど14:00であり、目的のスノーシューも試せたので、無念であるが撤退を決心した。ゲレンデまで下りてくると雨が結構降っている。スキー場はまだイベント中で大勢の人ばかりで、さらに駐車場から歩いて向かう人も多かった。ヨサコイ踊りをしていた。チュートリアルという芸人も出演するそうである。ゲレンデの麓のマキノ温泉に浸からしてもらい、ありがたいことに、それから僕の自宅まで井戸さんに送っていただいた。

【参加者】井戸澄夫、清水康裕

【コースタイム】8:00四ノ宮交番前(湖西道路) - 9:25マキノスキー場駐車場 9:40...10:05
ゲレンデのリフト終点 10:10...10:40尾根道...11:10ピーク(562m)手前 11:45...
13:05寒風...13:50撤退...14:15寒風 14:20...15:00ピーク(562m) ...15:20尾
根からゲレンデへ...15:55駐車場...16:00マキノ温泉...19:00四ノ宮

「岩岳スキー」

OB 吉田 武

1日目

暖冬の今シーズン、信州のスキー場も雪が少なく、梅池までの道中はあまりスキー板を乗せて走る車が少なかった。

信濃大町を過ぎてやっと田んぼが一面白くなった。梅池スキー場の駐車場に車を停めてまずは昼の宴会をする。

今回は大槻さんが参加されたので聊か昼から宴会とは？と思いきや当てが外れた結果になった。

何時ものように僕だけがスノーボードをして4人は梅池の上部で滑った。

鐘の鳴る丘ゲレンデはスノーボードをする僕にとっては最高のゲレンデで大分滑れるようになったので嬉しかった。

2日目

40年間滑りなれた岩岳スキー場、正面のバーンは土が見えて暖冬そのもので今までに無い光景である。

今日は5人で滑ろうとゴンドラ乗り場に行く、100人ほど並んでいるが6人乗りのゴンドラに6人乗るように係員が手配しているのであまり時間を気にしなくても早くゴンドラに乗れた。

岩岳山頂は1,200m位であるがここからの白馬三山は最高の景色が見える所であるけれど今日は駄目、雲がかかっている。

奥のゲレンデから順番に1回だけ滑った、頂上からは6本ほどコースがあるがやはり八方尾根側に右に回っていくコースが面白い、3回滑って宴会にした。

頂上広場にテーブルがあるので大宴会になる（少し心苦しい）厚揚げの醤油焼きや鶏鋤で滑るのを忘れるくらい楽しい時間を過ごした。

年配スキーなので早々に宿に帰る。

3日目

午前中は大槻さんと鷺見さんだけがスキーに行った、僕らはスキー場近くの温泉に入って2人を待った。

昨夜から降った雪でゲレンデは最高の雪だったと言ったので温泉も良いよと返した。

昼にはスキー場を後にして途中、穂高で蕎麦を食べて帰った。

【参加者】鷺見寿末子、大槻雅弘、岡本義弘、吉田 武、他1名

昨年の岳友との思い出

坂井久光

平成18年は私にとって非常に悲しい年でした。最初に京岳連委員長の清水朝一氏の死去でした。鴨川畔のホールで告別式があり、久しぶりで会った小谷隆一氏は奥さんや息子さんにさへられ、体調や顔色も悪いので驚いた。翌月彼も帰らぬ人となり、京都二商以来の岳友を無くした。又その後、京交山岳部の先輩伊藤潤治氏宅を訪れたが無人で、向かいの喫茶店で聞くと九条病院に入院中とのことで早速見舞に行ったが、点滴中で医者に病状を聞いたが身内の者でないとプライバシーに係わると教へてくれないが大分状態が悪いと感じた。彼は私より11歳高齢で93歳であった。一昨年5月五條市の御勢久衛門氏を訪れて、来年4月に円山公園で伊藤さんと3人で花見をして料亭で会ほうと約束したが、その後花留で花を求めて病院に行って一週間後伊藤さんは亡くなり、後山の仲間の本が河村清さんから送られて来た。又御勢氏も11月に亡くなり、弟子の名張市の本庄さんから電話があり、五條市

のお寺で葬式に参列することが出来、初めて息子さんに会へた。その後息子さんから一昨年私が彼から頼まれて、四手井さんの書いた「山と森の人々」を送ったことがあり、父が大変喜んでいと語った。

皆高齢者と云へばそれ迄だが、御勢氏は私より1歳若く、小谷さんも同級生乍ら1歳若かった。彼が山岳部のキャプテンで、森本次男先生が部長だった頃入部したおかげで、今日迄ひ弱い私が長生していると感じる昨今で、今年1月13～14日に大分県猪群山へ十二支会で登って来た。そこで約20年ぶりでJACの加藤氏と再会した。彼はキュピストクラブを作り、私はトカラの露天風呂を書いたことがあり、よく彼は私を憶えていてくれた。

例 会 報 告

例会No.	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	記 事
2507	赤坂山	1月27日	雨	清水 康裕	井戸 澄夫	(別稿詳報)
2508	岩岳スキーツアー 岩岳スキー場 樽池スキー場	2月9日 ～ 2月11日		吉田 武	大槻 雅弘 岡本 義弘 鷲見壽未子 他1名	(別稿詳報)

部 員 動 静

目的地	月 日	参加者	記 事
猪群山 458m	1月13日 ～14日	坂井 久光	十二支会で、国東半島の猪群山に登った。ストーンサークルがあった。

報 雜

△△△ 2月の集会

日 時 2月8日(木) 18:30~
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 井戸, 大倉, 吉田, 方山, 岡田, 渡辺, 和田, 坂井, 清水, 堀田
内 容 例会予告, 例会報告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 1月の企画運営委員会

日 時 1月23日(火) 18:30~
場 所 厚生会館 4F 六角会議室
出席者 井戸, 吉田, 方山, 清水
内 容 例会予告, 岳連関係報告, ほか

△△△ 他山岳部の会報(受贈分)

1月号 木雞, 趣味の登山, 比良山岳, 京都山岳, 青嶺, わっぱ, 一等三角點
2月号 木雞, 趣味の登山, 京都山岳, 青嶺, 山友

△△△ 平成18年度会費領収者について

12月21日~2月21日までに次の方々から領収しましたので報告します。
角田敏昭, 佐伯康介, 上村次男, 田村正弘, 花岡弘武

△△△ 平成18年度総会のお知らせ

日 時 平成19年3月14日(水) 18:30~
場 所 鳴滝寮
会 費 1,000円
担 当 清水康裕(携帯090-3864-8269)
堀田 剛(携帯090-7491-6609)
備 考 準備の都合上, 出席される方は3月8日までに担当までご連絡ください。

△△△ 平成19年度 日山協山岳保険の募集

保険料は下記のとおり。申し込み希望者は、3月23日までに井戸まで連絡ください。

連絡先 431-4321, 携帯 090-8195-3387

(1) 山岳登はんコース

	契約基本タイプ				
	S	B	C	D	E
死亡・後遺障害	100万円	136万円	269万円	438万円	1,100万円
遭難捜索費用	100万円	200万円	250万円	350万円	500万円
個人賠償責任	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
保険料	3,000円	5,200円	7,000円	10,000円	17,000円

(2) 軽登山コース

Type	I 型	II 型
保 険 料	2,000円	5,000円
死亡・後遺障害保険金額	221万円	332万円
救援者費用保険金額	300万円	300万円
個人賠償責任保険金額	1億円	1億円
入院保険金（1日につき）	2,000円	4,000円
通院保険金（1日につき）		1,700円